

2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社エフピコ

代表者名 代表取締役会長 佐藤 守正

(コード：7947 東証プライム)

問合せ先 専務取締役経理財務本部本部長 池上 功

(TEL. 03-5325-7756)

連結業績予想の公表及び剰余金の配当（中間配当・増配）に関するお知らせ

当社は、2026 年 4 月 30 日公表の「2026 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました 2027 年 3 月期 連結業績予想を公表いたします。

また、2026 年 10 月 30 日開催の取締役会において、2026 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当・増配）について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の公表

(1) 2027 年 3 月期連結業績予想（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	264,000	25,800	25,800	17,200	212 円 62 銭
増 減 額 (B - A)	—	—	—	—	
増 減 率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	240,490	21,614	21,768	14,869	183 円 87 銭

(2) 連結業績予想公表の理由

中東情勢を背景に、当社グループを取り巻く事業環境が不透明であることから「2026 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」では 2027 年 3 月期の連結業績予想を未定としておりましたが、主要原料の安定的な調達が可能となったこと、また、2026 年 6 月 1 日出荷分より実施した 20% 以上の製品価格改定の浸透状況等を総合的に勘案し、一定の合理的な算定が可能となったため、2027 年 3 月期の連結業績予想を上記の通り公表いたします。

引き続き、コストに応じた適正価格での販売を通じて収益性の維持向上を図り、安定的な成長を実現してまいります。

2. 剰余金の配当（中間配当・増配）について

（1）剰余金の配当（中間配当・増配）の内容

	決 定 額 (2027 年 3 月期中間)	直 近 の 配 当 予 想 (2026 年 4 月 30 日公表)	前 期 実 績 (2026 年 3 月期中間)
基 準 日	2026 年 9 月 30 日	同左	2025 年 9 月 30 日
1 株 当 た り 配 当 金	36 円 50 銭	31 円 50 銭	31 円 50 銭
配 当 金 の 総 額	2,952 百万円	—	2,547 百万円
効 力 発 生 日	11 月 25 日	—	11 月 25 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

（ご参考）年間配当金の内訳

	1 株当たり配当金（円）		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2026 年 4 月 30 日)	31 円 50 銭	41 円 50 銭	73 円 00 銭
当 期 予 想		41 円 50 銭	78 円 00 銭
当 期 実 績	36 円 50 銭		
前 期 実 績 (2026 年 3 月期)	31 円 50 銭	41 円 50 銭	73 円 00 銭

（2）理由

当社は、株主の皆様への利益還元を最重要課題の一つと位置付け、連結配当性向 40%を目途とし原則として減配せず、累進配当を実施することを基本方針としております。

上記方針に基づき、第 2 四半期末（中間）配当を 1 株当たり 31 円 50 銭としておりましたが、当中間連結会計期間の実績をふまえ見直しを行った結果、第 2 四半期末（中間）配当を 5 円 00 銭増配し、1 株当たり 36 円 50 銭（配当性向 39.7%）といたします。この結果、年間配当金は 1 株当たり 78 円 00 銭を予定しております。

（注）上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により変動する可能性があります。

以 上